



●市民のみなさんと議会をむすぶ●

# だいとうし 議会だより

安全・安心のまちづくりのために

**5月**  
3月定例会号

## No.25

平成17年(2005年)5月1日発行 編集・発行/大東市議会  
〒574-8555 大東市谷川1-1-1  
TEL.072-872-2181(代)・072-870-0763(ダイヤルイン)  
FAX. 072-872-3820

## CONTENTS

3月定例会のあらまし……………2~3  
代表質問……………4~7  
一般質問……………8~11  
議案の審議結果……………12



**会議録が  
ご覧になれます**  
ホームページ(アドレス)  
<http://www.city.daito.osaka.jp/>  
市民に開かれた議会を目指し、  
委員会の公開、インターネットによる  
会議録の公開など積極的に  
取り組んでいます。

# 17年度一般会計、9特別会計、水道事業会計予算を可決

市議会第1回定例会は、3月3日から開会され、岡本市長から平成17年度の施政方針が示されました。また3月13日の日曜日に市議会の各会派の代表者が施政方針を受けて質問をしました。

議案については、平成17年度各会計予算、16年度・17年度各会計補正予算、条例の制定や一部改正などについて審議しました。

## 総額772億2369万円の予算を可決

平成17年度予算案は、一般会計40億9999万円、国民健康保険・公共下水道事業などの9特別会計333億39万円、水道事業37億2332万円となっています。

予算総額は前年度より18億1401万円の増、一般会計は前年度より2億4599万円の増となっています。

歳入では、法人市民税が前年度より4億1208万円減の12億8470万円となり、市税全体で5億216万円減の162億2850万円となっています。

歳出では、重点施策として「子ども施策」「市民協働・官民連携施策」「市制50周年施策」を設けるほか、安心・安全施策などを重視した編成になっています。

主な事業は、福祉の総合的な相談やコーディネーターを行うコミュニティソーシャルワーカーを、地域に計画的に配置する事業に3228万円

在宅の重度障害者（児）の生活行動範囲の拡大と、社会参加の促進を図るため、タクシー料金の一部を助成する事業に2015万円

市民一人ひとりが自主的かつ積極的に健康的な生活習慣の定着が出来るよう市全体で取り組む健康づくり事業に2550万円

乳幼児を持つ親とその子どもが気軽に集う環境を整える「つどいの広場事業」に572万円

昼間保護者のいない小学校低学年の児童のための「放課後児童健全育成事業」に1億4190万円

次世代育成支援対策行動計画を具体化する拠点として、子育て関連講座等

を実施するために開設する「大東キッズプラザ事業」に1249万円

南郷小学校、北条小学校、住道中学校の耐震補強および改修、エレベーター設置を行う「学校大規模改造事業」に7億528万円

子育てや、しつけに悩む家庭を総合的に支援するため家庭教育サポートチームを組織し、実践的な調査・研究を行う「家庭の教育機能総合支援モデル拡充事業」に371万円

不登校支援協力員を市内中学校に派遣し、個々の生徒への対応および学校としての指導体制の強化を充実させる

不登校支援協力員を市内中学校に派遣し、個々の生徒への対応および学校としての指導体制の強化を充実させる

不登校支援協力員を市内中学校に派遣し、個々の生徒への対応および学校としての指導体制の強化を充実させる

不登校支援協力員を市内中学校に派遣し、個々の生徒への対応および学校としての指導体制の強化を充実させる





18年4月のオープンに向けて工事が進む西部図書館

「不登校緊急対策事業」に103万円  
 学校図書室にパソコンを配置し、効果的な図書貸し出しを行うとともに学校の蔵書データの統一を図る「学校図書館蔵書管理事業」に637万円  
 市民の利便性を図るため、住道南側の高層住宅棟内に生涯学習センター等を整備する事業に5億4440万円  
 市民の身近な学習施設として地域のニーズに応じた図書や情報を提供し、生涯学習ルームも併設、18年4月オープン予定の「西部図書館整備事業」に6億3829万円  
 住道駅周辺の違法駐車・放置自転車解消するため、現在平面利用している住道駅中央自転車駐車を立体化する「駐車場・自転車駐車場整備事業」

に6億3735万円

JRが行う四条驛駅舎のエレベーター・エスカレーター・障害者対応トイレの設置に対する補助を行う「鉄道駅舎ハリアフリー化設備整備費補助事業」に8099万円

三箇地区（寝屋川西村橋上流右岸）の緩衝地を地元自治会が里親として緑化等の管理を行う「三箇コミュニティ緑化助成事業」に200万円

市の歴史・文化に触れ、学び、地域が賑わう拠点施設として整備する「野崎まいり公園整備事業」に4億1469万円

18年度、下水道人口普及率90%到達に向け、流域下水道との整合を図りながら公共下水道の整備を進めるための「管渠築造新設事業」に30億8113万円  
 （金額は1万円未満四捨五入、以下同じ）

### 市立小学校の緊急安全対策と子どもの安全見守り事業に17年度補正予算

寝屋川市で発生した卒業生による教職員殺傷事件を受け、大阪府がまず予算化したもので、それにより1275万円の補助を受けることになり、市立全小学校に警備員を配置するための補正予算4487万円と、子どもの安全見守り事業に75万円の補正予算が上程されたもので、全員賛成で可決しました。

### 指定管理者の指定手続等に関する条例を制定

公の施設の指定管理者の指定について、本市において共通する基本的な手続きを定めた条例を制定しました。

### 市立キッズプラザ条例、市立図書館条例を修正可決

市民の幅広い子育てを支援する次世代育成の拠点施設として設置する目的で、市立キッズプラザ条例の制定が提案されましたが、より多くの市民の利用を促すため「プラザ施設の使用料は無料にする」旨の修正案を提出し全員賛成で可決しました。

また、西部図書館設置に伴い新たに市立図書館条例の制定が提案されましたが、事業の内容を明確化するための条項を加えるという修正を行い全員賛成で可決しました。

### 国民健康保険税条例の一部を改正

16年度の国保会計の状況については単年度で4億円、累積で14億円の赤字が見込まれ、健全な国保運営を維持していくため、医療分の賦課限度額を50万円から52万円に、また所得割、均等割額、平等割額を見直したもので、17年度以降の年度分の国民健康保険税について適用されます。

### 市職員の給料・手当を大幅に削減

引き続き厳しい財政状況をかんがみ、行財政改革大綱の一環として給与の削減と手当の見直し、定期昇給の延伸を行うため「一般職の職員の給与に関する条例および一般職の職員の給与に関する特別措置条例」の一部が改正されました。定期昇給の停止や給料・手当の削減などで20年度までの4年間で約6億7000万円の削減になります。

### 「JR新駅（住道、野崎間）の設置を求める陳情書」を採択

JR学研都市線の住道駅と野崎駅間に新駅設置を求める陳情書を全員賛成で採択し、その実現を市に求めています。

この陳情は、住道、野崎両駅から離れた中垣内、寺川、深野、平野屋などの9つの地区と立地企業関係者で結成された「大東新駅期成同盟会」から、市民の利便性、経済活動の活性化効果を主旨に新駅の設置を要望されているもので、平成16年9月定例会から継続審査になっていました。

なお、採択にあたって、本件を付託されたまちづくり委員会において、「新駅設置については市と期成同盟、JRの3者でよく協議すること」「期成同盟が最大限の費用負担して努力すること」と意見をつけました。

岡本市長の施政方針を受けて、3月13日の日曜日に市議会の4会派の代表が質問を行いました。各議員から掲載希望のあった質疑を掲載しています。

## 公明党議員団

**問** 「いきいき安心のまち・大東」の実現と、「新しい自治のかたち」はどう結びつくのですか。

**答** 自治基本条例の策定は、市民協働で取り組むことを基本に据え、

公募市民などで構成する市民会議を発足させ、検討を重ねています。このような市民と行政との協働こそが、施政方針で示した「新しい自治のかたち」であり、「いきいき安心のまち・大東」は、市民協働によって作り上げていかなければならないと考えています。

**問** 「子ども」施策について「子ども夢プラン」は、本市独自の知恵と創意を發揮しながら充実させるべきではありませんか。

**答** 3歳までの子どもの大半は家庭保育が中心であるため、子育て情報から孤立しがちです。このような家庭に対しては、孤立感の解消と保護者同士のネットワークを広げ、子育て不安が児童虐待につながることをない



内海 久子議員

よう、地域子育て支援の拠点をつくるとともに、支援が必要な児童については、支援教室を開設していきます。

また子どもが健康に育ち、子育てに喜びを感じることができるよう、地域にソーシャルワーカーを配置したり、若者が意欲をもって就業し自立できるよう、企業との協力関係にも踏み込んだ計画になっています。

**問** 国民健康保険制度の出産一時金を増額することはできませんか。

**答** 経済的負担の大きいことが少子化の背景にあることは確かです。子育てに関する、家庭の経済状況を考慮した支援策を、保健・福祉の総合的な体系の中で充実・推進する必要があります。

保護者が安心して子育てするために、何をすべきか、経済的支援を含めた総合的な子育て支援体制を築くための検討をしていく考えです。

**問** 4カ月健診時の「ベビーマッサージ事業」を、家庭だけでなく支援センターや公民館などでも実施できませんか。

**答** 乳幼児期のベビーマッサージは、親子の愛着形成を促すために重要で、子育て支援にもつながります。実績を見ながら、事業内容を検討していきます。

**問** 予算編成に取り入れられている財源配分方式、インセンティブ予算制度導入でどれだけの効果がありましたか。

**答** 17年度当初予算の財源配分方式による効果額は約1億8000万円、インセンティブ予算制度では4600万円の歳出削減と1億5600

万円の歳入確保の合計2億200万円の効果がありました。

**問** 全市民参加型の50周年記念事業にするためにも、市内の全33基のだんじりがそろい踏みするような企画を考えられませんか。

**答** 市内だけでなく、対外的にも本市を発信する基点とするのが周年事業の重要なテーマです。現段階では行政内部で準備を進めているものもありますが、今後多くの市民が企画立案、実施に参加できるように仕組みを検討していく考えです。また、だんじりについては都市構造上可能かの検証が必要ですが、市民参加型の事業の一つとして検討していきます。

**問** 難聴者、中途失聴者は、障害が外から分かりにくいので、日常生活で人知れぬ苦労をしています。聴覚障害者が気軽に利用できるよう、庁内や公共施設に「耳マーク」表示板を設置してはどうですか。

**答** 聴覚障害者にとって有効なサインだと考えます。早期に実施していきます。

**問** 保育所や幼稚園、療育センター、子育て支援センターの安全対策について答弁願います。

**答** 幼稚園と保育所は、モニター付インターホンを設置しています。療育センターと子育て支援センターにもモニター付インターホンとオートロックを設置し、安全確保に努めます。



4か月健診時に行われているベビーマッサージ

耳の不自由な方は筆談しますので申し出てください。



聞こえが不自由なことを表す『耳のシンボルマーク』です。

「聞こえない、聞こえにくい」ということを知らせる「耳マーク」表示板

\*インセンティブ予算制度  
事務事業の執行方法などを各課で自発的に見直し、経費の節減が図れた場合、その節減された経費の一部を当該担当に再配分する予算制度です。

清 新 会

**問** 地域の絆を強固にしていくことが市政運営の基本とのことですが、具体的に説明してください。

**答** 地方分権の進展が地方自治にもたらすのは、自治の拡充です。しかし、どのようなまちを自分たちでつくっていくのかについての答は、自分たちで生み出さなければなりません。住民、事業者、行政それぞれが地域づくりの主體的な担い手として、自覚をもって地域に関わる姿勢が必要です。具体的には、介護や子育て支援、防犯などの課題解決に向けて、多様な主体による連携と協働の取り組みを地道に積み上げ、お互いに信頼できる関係を築きながら、その輪を広げていくことが地域の結びつきを強め、ひいては地域の絆を強固にしていくことにつながると考えています。

**問** 実行力ある大東市を築くためには、大東の価値を高めなければなりません。また、大東の価値を高めるには、市民が住み心地のよさを実感できなければなりません。市の見解を聞きます。

**答** 指摘された点は、持続可能なまちづくりを考えていくうえで非常に大切な視点だと考えます。そのために行政は、市民が生活上の不便を感じないような行政サービスを提供するとともに、住み続けたいと感じられるまちをつくらなければなりません。市民、事業者など多様な主体との協働と連携は不可欠であり、それらの実践を積み上げていくことがまちの価値を高める最良の方法です。

**問** 生活の安全と安心は、いま市民が最も関心を寄せている事柄であり、市民生活の要ともなるものです。そのために、行政はどのように責任を果たしていくのですか。

**答** 地域づくりには多様な主体が関わるため、時には対立が生じることもあります。このとき行政は、全体の奉仕者として調整を図り、何が最も住民の福祉の増進につながるかを総合的に判断しなければなりません。また行政は、単に行政サービスを提供するだけでなく、協働と連携の過程から地域が共感しうる価値を見出し、その実現のために最適な効果が得られるようにコーディネートしていくことが期待されています。これらの使命を忠実に果たしていくことが行政の役割と責任だと考えています。

を生かすような事業を行ってはどうか。

**答** 今回の50周年記念は、かつて本市が経験したどの年に比べても大きな節目になることは間違いありません。この半世紀の間、急激な人口増加に伴う都市整備や、大水害に対応するための取り組みなどを進めてきました。市の成長過程を振り返ると同時に、これからの四半世紀を見据えた「いきいき安心のまち」を構築すべく、歴史や風土、集客できる都市機能の形成に力を注ぐことも大切だと考えます。広く市民や議員のみなさんから頂戴したアイデアを基に、充実した記念事業となるよう努力していきます。

**問** 東諸福公園の多目的広場は、防災公園としての位置づけから球技ができません。市民の余暇活動の高まりに対応すべき時代に、逆行しているのではありませんか。

**答** 本市は、緑豊かな地域環境を形成し、防災の拠点となるオープンスペースを確保するため、街区・近隣・地区公園の整備と緑化を積極的に推進しており、東諸福公園についても防災拠点、都市の緑の拠点、市民の憩いの場としての整備を進めているところです。また本公園は、平成10年4月の「大東市地域防災計画」において、災害時の避難地や救援・支援拠点として重要な「防災公園」に位置づけられています。近隣公園の多目的広場の目的と役割は、「だれもが気軽に、かつ安全に利用できる広場の確保」なので、その視点で開放していく考えです。



三ツ川 武議員



市民の憩いの場として整備が進められている東諸福公園

市民からの公募で決まった市制50周年ロゴマーク



# 代表 質問

岡本市長の施政方針を受けて、3月13日の日曜日に市議会の4会派の代表が質問を行いました。各議員から掲載希望のあった質疑を掲載しています。

## 日本共産党議員団

**問** 市政運営の基本について

(1) 地方自治体の役割は、市民の実態を踏まえ、国の手が届かない部分の施策を充実させることにあります。施政方針からは大東市の特徴や独自性が見えてきません。どのように考えていますか。

**答** さらに行政のスリム化を推進する一方、特別枠として「子ども施策」「市民協働・官民連携施策」「市制50周年施策」を設けるほか、安心・安全施策などの真に必要な部分に重点的に予算配分しています。

**問** (2) 市長が主張する「市民参加」とは、「この指止まれ」式の参加で、地方自治体の役割を放棄した誤った行政論が際立っているではありませんか。

**答** 地域づくりは、市民、議会、行政の3者がそれぞれ役割を果たしながら相互に連携していくという、自立と協働の関係構築していくことが重要です。



豊芦 勝子議員

**問** 財政改革について

(1) 厳しい市財政のしわ寄せを、市民と職員犠牲で乗り切ろうとするのが岡本市政の財政改革ではありませんか。

**答** 市財政の悪化は現実の問題であり、成果を重視する仕事のやり方や、それを実現していくための行政経営システムが大切です。多くの市民は、税を効率的に使うことを私たちに求めています。

**問** (2) 17年度予算の特徴は、庶民大増税が進行しているなかで、建設費が突出していることです。一方で市民負担が増し、行政本来の役割を放棄している問題点があいまいにされているがどうですか。

**答** 生涯学習センターや西部図書館の整備が完成年度を迎えるため大きな事業費を計上したことや、事業が集中したことで投資的経費が大きく伸びました。今後とも投資的経費を拡大させていくというものではありません。限られた財源のなかで市民の要望に応えるため、常に既存事業の見直しを行い、財源を捻出し、17年度は新規・充実合わせて99の事業を実施します。今後とも時代の変化に合わせた事業のスクラップ・アンド・ビルドを促進していく考えです。

**問** 「子ども施策」について

(1) 「市立キッズプラザ」については、福祉と教育両面からの位置づけを行い、市が責任を持って無料で運営

し、0歳から青年期までを対象とした施設にすべきではありませんか。

**答** 本計画は、次世代の健全な育成をも視野に入れたものになっているため、幅広い子育て経験と経験者のネットワークを持つ民間事業者に運営を委託することが適切だと考えています。

**問** (2) コスト面のみで公立保育所を民営化することは、行政として正しい選択でしょうか。

**答** 考え方の基本は、市民の貴重な税を大切に使うことです。同一のサービスを提供できるのなら民営化し、浮いた財源については子ども施策の新規展開や充実に振り向けています。

**問** まちづくりについて

(1) 「行政は地域のコーディネーターとしての役割と責任を全うしなければならぬ」とのことですが、職員の体制は十分ですか。

**答** 行政の役割として、民間だけで対応できない問題について支援したい。市民活動を活発にできるように、制度面の環境の整備などを検討します。

**問** (2) 中小企業振興条例を制定するなど、産業活性化の方策を講じるべきではありませんか。

**答** 本市の中小企業の実態は、ビジネスプロモーターによる企業相談などにより随時把握しています。現在、個々のプロジェクトによる施策を実施しているところであり、条例制定の考えは当面ありません。

企業からの相談に応じる  
ビジネスプロモーター



生涯学習センターが入る予定の  
住道駅南側のビル



# 大東21議員団

**問** 「子ども施策」について

大阪府民健康プラザ跡地に予定されている「市立キッズプラザ」の事業内容を聞かせてください。また、有料にした理由は何ですか。暫定的に無料にした方がよいではありませんか。

**答**

キッズプラザは、従来の子育て支援センターで実施している内容に加え、次世代育成の視点からの幅広い事業展開を予定しています。とりわけ世代間交流と子育て情報の発信を中心に、楽しみ感を打ち出せるような内容です。有料にしたのは、子育ては地域の課題であると同時に保護者自らの責務であるとの視点から、事業運営および情報提供に対して一部負担をお願いしたものです。

**問** 「新生児訪問事業」の実績と内容について説明してください。

**答** 15年度の本市の出生数は1250人、訪問件数は815件、育児相談会へは939人の参加がありました。助産師



澤田 貞良議員

や保健師が新生児の家庭を訪問し、よりよい育児ができるよう、親の相談に応じる支援も行っていきます。

**問** つどいの広場事業に参加しない(できない)層に、虐待や育児ストレスなどの問題を抱えている人が多いように感じます。新生児訪問事業とつどいの広場事業を連携できませんか。

**答** 新生児の時期に専門職が家庭訪問することにより異常を早期に発見し、治療に結びつけることができます。必要な助言をし、不安を解消しながらよりよい育児ができるよう支援していきます。

また、社会的に孤立することのないように、つどいの広場への参加を呼びかけていく考えです。

**問**

「人と人との絆」を深めるため「ドメスティック・バイオレンス法(DV防止法)」が改正され、被害者への支援策が前進しました。市は、関係機関との連携をどのように強化していきますか。

**答**

16年10月に庁内関係課および保健所、医療機関、警察などの参加のもと、「大東市DV防止対策連絡会議」を設置しました。また、DV防止法により、福祉事務所は、被害者の自立支援に必要な措置を講ずるため、今後は連絡会議を通じてさらに活発に連絡調整、情報交換を行い、ネットワーク機能を充実させながら対応していく考えです。

**問** 外出困難な重度障害者への「訪問理容サービス」について、説明してください。

**答** 17年度からスタートする新規事業です。重度障害者を訪問し理容サービスを提供し、清潔の保持と家族の介護の軽減を図ろうとするものです。広報やホームページなどで市民にわかりやすく伝え、利用しやすいサービスになるよう努めます。

16年度に本格稼働した行政評価システムの成果について説明してください。職員の退職者が増加するなか、やる気は大丈夫なのか、適材適所に人事配備できているのか聞かせてください。

**問**

本市の行政評価は、3つの目標を設定しています。一つ目の「市民サービスの向上」については、各事務事業の成果を数値で表した成果指数を設定しており、これまで行ってきた事務事業の効果を確認することができました。二つ目の「行財政改革効果の創出」については、財源配分型予算編成に当たって、全庁の約7割の課が、評価の結果を予算編成に活用しており、一定の成果があったものと考えています。三つ目の「説明責任の強化」については、評価結果を市のホームページで公開していきます。

**答**

今後継続的に評価制度の向上を図り、市民志向、成果志向、効率性志向の行政運営を目指します。やる気の問題は職員一人ひとりが意識を変えて臨むことが大切と考えています。職員の配置は、各部署と十分なヒアリングを行い、適性配置に努めています。



中垣内に設置されたつどいの広場「ぼけっと」

「市立キッズプラザ」は大阪府民健康プラザ跡地に予定されています。



# 一般質問



今期定例会では、15人の議員から一般質問がありました。各議員から掲載希望のあった質疑を掲載しています。その他の一般質問項目は11ページに掲載しています。

## 学校の安全対策について

古崎 勉議員（日本共産党議員団）

**問**

寝屋川市立小学校で発生した教職員殺傷事件に関して市はどのように受け止め、再発防止に向けてどのような対応策を考えていますか。

**答**

今回の寝屋川市のケースは、同校卒業生が学校を訪れて殺傷事件を起こすという特異なものです。亡くなった教師はマニュアル通りの対応をされたと報道されており、この事件を学校が防ぐことができたかという点、正直、大変困難であると言わざるをえません。今以上に、安全・安心で、地域に信頼される学校づくりを目指し、学校・家庭・地域が連携を密にしながら、より効果的な施策を考えていきます。

**?**

この事件は「やむを得ない」「再発防止は困難だ」と無力論に陥ることはよくないと思います。再発防止に向けて学校が努力することは当然として、地域の協力が不可欠で社会的背景まで深める必要があると思います。また、市民の多くは警備員の配置を望んでいますが、どうですか。

**!**

再発防止と保護者の不安を取り除くために、警備員を配置します。

## 野崎まいり公園（仮称）の整備状況

中河 昭議員（大東21議員団）

**問**

野崎まいり公園（仮称）の整備は、地域のみなさんの要望を聞き入れながら進めてもらいたいと思いますが、どのような公園にするつもりですか。

**答**

現在、「野崎駅周辺総合計画推進協議会」を中心に意見が交わされているところですが、「園路」や「あずまや」など、人びとが集える施設についても検討中です。整備内容については、4月以降速やかに素案をつくり、9月ごろを目標に計画を具体化していきます。駐車場・駐輪場の整備と、図書館や資料館設置の要望がありますが、考えを

**?**

飯盛山の山麓部に位置する野崎まいり公園（仮称）予定地



**!**

聞かせてください。

施設の内容に応じて駐車場と駐輪場の必要台数を整備します。図書館については、3館構想はありますが、具体的な計画はありません。資料館などの建物はまだ検討中です。

## 山麓地域の

### 分流式下水処理について

松下 孝議員（無会派）

**問**

北条、野崎、中垣内、寺川で分流式下水道整備が決定した区域と、その決定理由を答弁してください。

**答**

北条4丁目10番から北条7丁目11番の区域と、野崎3丁目7番から寺川5丁目の区域です。浸水の可能性が低いことから分流式を採用しました。中垣内は既存の排水経路を活用しながら、下流部では雨水と汚水を受け入れるよう整備するという合流式です。

**?**

野崎・寺川両区長から、浸水対策のため合流式に変更してほしい旨の陳情書が提出されましたが、市は、下流部の下水道管の管径が細く、合流式にする下流部での浸水が懸念されるため変更不可能との見解でした。このため、議会としては、この陳情書を否決（不採択）し、浸水対策に努力するよう意

## 諸福小学校区に

### 放課後児童クラブを

澤田貞良議員（大東21議員団）

**問**

諸福小学校区で放課後児童クラブが実施できないのは、児童センターがあるからですか。

**答**

児童センター設置校区は、その施設を活用し事業を実施できるものと考えています。児童センターと放課後児童クラブは設置の根拠となる法律が異なっていますが、ソフト面での児童への指導は見劣りしません。

**?**

16年度から児童センターへの弁当の持ち込みが禁止になり、昼食のため一度帰宅しなければなりません。これは安全上問題があるだけでなく、放課後児童クラブと扱いが異なりませんか。

**!**

新1年生は、引き続き弁当を持参して差し支えありません。今後利用者と意思疎通を図り、運営内容について検討

していきます。

児童センター入退館時に放課後児童クラブと同等の安全管理はできているのですか。

職員がチェックし安全管理に努めています。また機械的なシステムも入れる努力もしていきたいと考えています。

### へドロのしゅんせつ工事

などについて

岩淵 弘議員（大東21議員団）

問

住道駅前の恩智川と寝屋川の合流地点で実施されたへドロのしゅんせつ工事について詳しく報告してください。

答

大阪府が1月7日から2月25日までの間にしゅんせつ工事を行い、川底のへドロ約2200m<sup>3</sup>（11台ダンプ約360台分）と158台の自転車、2台のバイクを回収しました。今後も府に対して、寝屋川と恩智川の環境浄化に向けた要望を続けていく考えです。

?

北灰塚地区の都市計画道路「諸福中垣



へドロを回収するしゅんせつ船

線」の残地に防火水槽を設置できるように、用地借用の件で大阪府と具体的な話し合いをしていますか。

!

防火水槽の設置予定場所として、灰塚小学校南側のJR高架下南側の信号付近を選定し、用地の無償借用を府に相談しています。一定の理解を得ており、4月以降に回答があるものと思います。借用できる状況が整えば、設置の具体的な検討に入ります。

### 戦後60年、被爆60年を

迎えるにあたって

千秋昌弘議員（日本共産党議員団）

問

憲法第99条（憲法尊重擁護の義務）についてどのように考えますか。

答

日本国憲法を尊重、擁護することは当然のことと理解しています。公務員は、公の立場ということで憲法を遵守することが大切と考えます。

?

戦後60年、被爆60年の今年、広島平和バスターに市民と一緒に市長も参加できませんか。

!

強く平和を願っており、スケジュールが合えば参加したいと考えています。

?

18年は憲法公布60年にあたります。憲法をどのように市民に広げていきますか。

!

憲法の基本理念である平和主義、基本的人権の尊重、民主主義を地域で実践するのが地方自治の本旨であり、その具体化が行政施策です。広報だいで憲法の特集記事を企画したり、野崎観音境内での人権展にも取り組みます。

### 住道駅南地区の整備について

中谷 博議員（大東21議員団）

問

「住道駅南公園」（末広公園）の整備について

答

(1) 休息場所は確保されていますか。  
現在フジ棚を整備中であり、フジが成長するまでは天井部分にアシなどを設置して日陰を確保していきます。  
(2) 公園管理は地元をお願いしてはどうですか。

!

公園の維持管理は、地域のみなさんと協働して行う考えです。現在、覚書を締結するため、末広地区と新町地区の区長と協議を行っているところです。



### 愛真幼稚園南側の

未開通道路などについて

水落康一郎議員（清新会）

問

(1) 津の辺町、愛真幼稚園南側の未開通道路について、近隣住民から、外環状線津の辺交差点からの渋滞により合流できず不便なので、整備してほしいとの要望がありますが、なぜ未開通なのですか。

答

公共下水道の埋設工事完了時に、付近住民や自治会から一般車両通行について反対意見がありました。今後地元自治会から当該水路跡地の利用方法について要望があれば調整をはかっています。

?

(2) 保育所、療育センター、子育て支援センターの安全対策はどうなっていますか。

!

モニター付インターホンと門扉にオートロックを設置します。すでに防犯用具も備え付けています。不審者が侵入した際は、「対応マニュアル」に基づいて対処できるよう訓練を行っています。

### 「2007年問題」に

関連して

中野正明議員（清新会）

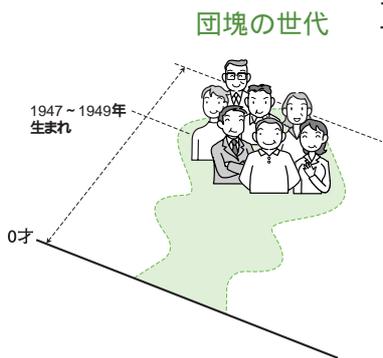
問

1947年から49年生まれの第一次ベビーブーム（団塊の世代）が2007年から順次60歳となり定年退職を迎えます。この世代は全国で約700万人といわれますが、大東市居住者は何人いますか。

！ 約7300人で人口の約5.6%です。

？ この世代が定年退職とともに年金生活を迎えることで、市の納税面で今後予測される問題点を聞かせてください。

！ 全国の65歳以上の老年人口は19・5%で平成27年には26%に増えると予想されています。市の老年人口は15・3%ですが、国の予測と同じように高齢化が上昇カーブを描いていくことは避けられません。個人市民税において、税収に大きな変化が推測されますが、年金課税の見直しを始めとする世代間の負担公平を求めた税制改正などから税収全般の推移はなお不透明であり、これらの要因を視野に入れた対策が必要です。



### 発達障害児(者)の支援について

内海久子議員(公明党議員団)

問 4月から「発達障害者支援法」が施行されます。発達障害を早期発見するため、乳幼児健診や保育において、専門的な判断と支援が必要と考えますが、どのようにしていますか。

答 各健診ごとに医師、歯科医師、発達相談員、歯科衛生士、保健師などの専門職を配置して発達障害の早期発見に努めています。また、保育課在籍の発達相談員が市内保育所を訪問し、必要な助言を行っています。

？ 学校における早期発見、実態把握、支援はどうしていますか。

！ 16年度から、発達心理の専門家による巡回発達相談制度を設けるようになりました。公立幼稚園、小・中学校で保護者の要望を受けて児童・生徒の発達の検査を行い、保護者、教員への相談と助言を行っています。また、教員の軽度発達障害に関する理解と知識を深めるため、校内研修会の予算化を図っているところです。

### 障害者の自立支援について

豊芦勝子議員(日本共産党議員団)

問 赤井の消防署の跡地を障害者のために有効活用できませんか。

答 跡地は現在、暫定的に公園のような体裁で市民に利用されていますが、近隣の商業者から、店舗建て替えに伴う代替駐車場として借り受けた旨の申し出がありました。市としては、当面差し迫った計画もなく使用料収入が見込めることから、店舗建て替え期間中のみ貸す考えです。

？ 障害者自立支援法(案)では、通所施設の利用者負担が20倍になります。障害者の不安解消と負担軽減のための対応策を考えられませんか。

！ 法案では、食費と定率負担の考え方が示されていますが、利用者の所得の範囲内での負担であり、法施行後の負担軽減を含めた経過措置も考えられているので、新制度後の利用が困難になるのでは考えにくいと思います。利用者負担の内容などについて、法案の審議状況を見極めていく考えです。

### 市職員の給料について

光城敏雄議員(無党派)

問 本市職員の給料の仕組みについて、昇任と昇級の関係にも触れながら答弁してください。

答 本市の給料表は行政職給料表と医療職以外の全ての職員に適用され、職務と職責に対応しています。具体的には、職務給の原則を1級(一般職員)〜8級(部長職)まで級立てしており、昇任・昇格によってそれぞれの級に格付けされます。また、各級ごとに号給を付けており、号給が上がると給料額が増加します。定期昇給は、1年の間良好な成績で勤務した際に原則として同じ職務の級で1号給上位に格付けします。

？ 地方公務員の給与について、「人事院勧告」という制度を聞きますが、国家公務員に対しての勧告ではないのですか。

！ 国家公務員の給与について、民間と公務員との生計費の格差を基準とし、一定の額を定めているのが人事院勧告です。地方公務員も、それにならって給与を決めています。

### バリアフリーのまちづくりを

川口志郎議員(清新会)

問 平成16年に、「大東市やさしいまちづくり連絡会」が実施した第7回まちなみ点検の成果が、要望書として市長と枚方土木事務所所長に提出されています。これを策定中のバリアフリー実施計画にどのように反映させますか。

答 17年度の早い時期に道路特定事業計画案を策定できるよう、作業を進めているところです。要望事項については、基本構想の基本方針の1つである「市民との連携によるバリアフリー化の推進」に基づき、連絡会との連携を一層深めながら、実施計画案のなかに反映させていく考えです。

また、指摘事項の再調査を実施し、緊急を要する箇所の応急補修を完了しています。点字ブロックや歩道部など



まちなみ点検の成果が生かされ、補修された歩道部(津の辺交差点付近)



下水道整備が予定されている寺川4丁目付近

は専門的な考察が必要なため、参加団体との調整を図りながら改良していきます。必要に応じて、枚方土木事務所や四條畷警察署と現地で再調査を行うことも考えています。

### 寺川4丁目付近の下水道計画

山元 学議員（公明党議員団）

問

当該区域の下水道計画は、「分流式」か「合流式」かで紛糾し、工事がストップしていると聞きます。住民要望にそって一日も早く工事を着工すべきではありませんか。経過と、今後の対応について説明してください。

答

本市の下水道整備は、分流式を原則としつつ、内水排除が困難な区域については合流式としています。当該区域についても、周辺の河川の状態から浸水の可能性が低いと判断して分流式を採用しました。計画は、昭和55年に大東市総合計画審議会、大阪府都市計画審議会で審議され、府知事の承認を得たものですが、1年以上の話し合いを経

問

### 障害者福祉施策の充実に

大谷真司議員（公明党議員団）

ても地区役員の納得が得られないまま着工できません。  
市全体ではすでに約86%の整備が終わっている現在、整備方法を変更すると下流側であふれる心配があり、できません。再度役員と話し合い、17年度の早い時期に着工する考えです。

答

「介護給付」を例に試算すると、身体障害者（児）200人、知的障害者280人、障害児110人程度で、ここに精神障害者が新たにサービスの対象として加わります。  
(1) 給付対象者は、どの程度になるとみえますか。

？

(2) 通所授産施設に通っている障害者の平均賃金はどれくらいですか。

！

通所授産施設を取り巻く経済状況は厳しく、日々の努力でやっと支えているのが現状です。月平均一人5000円程度と聞いています。

？

(3) 本人や生計を一にする家族の負担はどのように変わりますか。

！

現行制度の居宅サービスは、利用者、扶養義務者共に所得税・住民税の課税状況によって負担階層が決められていますが、法案では世帯の収入額が対象とされ、低所得者への配慮を含んだ4つの負担区分が示されています。

## 一般質問項目（緑色の項目は8～11ページにその質疑の要約を掲載しています）

大谷 真司 議員

障害者福祉施策の充実に  
小学校の統廃合問題について  
自治会、校区福祉など地域活動組織の整合性について  
学校での安全対策について  
地域の安全を守るために  
生活困窮者に対する福祉施策について

中河 昭 議員

野崎まいり公園(仮称)の整備状況について  
大東市人権行政基本方針について  
地震ほか災害時の避難所の耐震性と安全について  
中学校に不登校専門員を配置することについて  
中学校も給食にできないか  
国旗「日の丸」掲揚について  
子どもの安全対策について  
市役所の電話番号を非通知から通知に  
下水道整備状況について

松下 孝 議員

津の辺浸水対策(愛真幼稚園周辺)について  
分流式下水道工事と浄化槽方式について  
南橋の里地区内の第三者所有の道路について  
深野1丁目(寝屋川東)の道路側溝のフタについて

水落康一郎 議員

市立学校・園の安全対策について  
自治体、職員をターゲットに違法、不当な要求をする行政対象暴力について  
愛真幼稚園南側の未開通道路について  
府が予定している堤防、護岸、砂防の各施設整備の本市該当分について  
JR住道駅デッキ下のハトのフン害について

中谷 博 議員

住道駅南地区等の整備について  
下水道整備について  
防災対策について  
環境行政について  
人事行政について  
水道における災害対策としての緊急給水拠点確保事業について

中野 正明 議員

2007年問題について  
コミュニティバスについて  
文化情報センターの今後について  
学校の統廃合とセキュリティについて

澤田 貞良 議員

諸福小学校に放課後児童クラブの設置を

千秋 昌弘 議員

戦後60年・被爆60年の年にあたって平和・憲法などについて  
よりよい介護保険制度への取り組み、社会保障の切り捨てでなく充実への取り組みについて  
不登校をなくすための取り組みについて  
コミュニティバスを山手地域に

山元 学 議員

防災対策について  
下水道問題について  
野崎まいり公園(仮称)について

豊芦 勝子 議員

次世代育成支援対策について  
障害者の自立・支援について  
子どもの居場所づくりについて  
「だいとう学」テキストを編集する地域学整備事業について

光城 敏雄 議員

退職時の特別昇給について  
給料表の運用について  
学校予算について  
教員の赴任期間と人事異動について

古崎 勉 議員

市長の政治姿勢について  
寝屋川教職員殺傷事件と学校安全対策について  
自治基本条例と環境基本条例について  
学校施設について  
人事行政について  
「検討する」という議会答弁用語について

内海久子 議員

発達障害(者)支援について  
学校教育について  
男女共同参画社会について

川口志郎 議員

バリアフリーのやさしいまちづくりについて  
児童福祉法改正に伴う実効ある施策の実施について  
大東市内差別事象をとらまえた庁内人権体制の拡充について

岩淵 弘 議員

公園整備と計画について  
通学路整備および教育現場における防犯対策について  
バリアフリー化および駐車禁止対策について  
大阪府事業について  
水道事業について

掲載は発言順

# 審議結果

## 審議結果は次のとおりです(3月定例会)

### 専決処分の報告(16年度補正予算)

- 一般会計(専決第2次)……………承認(全員)

### 16年度補正予算

- 一般会計(第4次)……………可決(全員)
- 国民健康保険特別会計(第4次)……………可決(全員)
- 公共下水道事業特別会計(第3次)……………可決(全員)
- 都市開発資金特別会計(第2次)……………可決(全員)
- 介護保険特別会計(第4次)……………可決(全員)
- 用地取得特別会計(第2次)……………可決(全員)

### 17年度予算

- 一般会計……………可決(多数)
- 国民健康保険特別会計……………可決(多数)
- 交通災害共済事業特別会計……………可決(全員)
- 公共下水道事業特別会計……………可決(全員)
- 火災共済事業特別会計……………可決(全員)
- 老人保健特別会計……………可決(全員)
- 諸福中垣内線整備事業特別会計……………可決(全員)
- 都市開発資金特別会計……………可決(多数)
- 介護保険特別会計……………可決(多数)
- 用地取得特別会計……………可決(全員)
- 水道事業会計……………可決(多数)

### 17年度補正予算

- 一般会計(第1次)……………可決(全員)

### 人事案件

- 固定資産評価審査委員会委員(野口昇氏)の選任……………同意(全員)
- 人権擁護委員候補者(中村文江氏)の推薦……………同意(全員)
- 人権擁護委員候補者(植田文子氏)の推薦……………同意(全員)
- 人権擁護委員候補者(小松崇氏)の推薦……………同意(全員)
- 人権擁護委員候補者(福井寛氏)の推薦……………同意(全員)
- 人権擁護委員候補者(高宮紘氏)の推薦……………同意(全員)
- 人権擁護委員候補者(橋川加代子氏)の推薦……………同意(全員)
- 人権擁護委員候補者(加戸夕起子氏)の推薦……………同意(全員)
- 人権擁護委員候補者(小南市雄氏)の推薦……………同意(全員)

### 条例の制定

- 公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例……………可決(多数)
- 人事行政の運営等の状況の公表に関する条例……………可決(全員)
- 長期継続契約を締結することができる契約を定める条例……………可決(全員)
- キッズプラザ条例……………修正可決(全員)
- 自転車駐車場条例……………可決(全員)
- 図書館条例……………修正可決(全員)

### 条例の一部改正

- 職員の勤務時間および休暇等に関する条例……………可決(全員)
- 災害派遣手当に関する条例……………可決(多数)
- 国民健康保険税条例……………可決(多数)
- 廃棄物の減量および適正処理に関する条例……………可決(全員)
- 老人デイサービスセンター条例……………可決(多数)
- 児童厚生施設条例……………可決(全員)
- 都市計画下水道事業受益者負担に関する条例……………可決(全員)
- 生涯学習ルーム条例……………可決(多数)
- 一般職の職員の給与に関する条例および一般職の職員の給与に関する特別措置条例……………可決(全員)

### 条例の廃止

- 心身障害者福祉金条例……………可決(多数)

### その他

- 市道路線の認定……………可決(全員)
- 議席の一部変更……………可決(全員)
- 議員の派遣……………可決(全員)

### 陳情

- JR新駅(住道～野崎間)の設置を求める陳情書……………採択(全員)
- 「下水道合流方式」施工のお願い……………不採択(全員)

### 継続審査となったもの

- 廿田川河川改修資材置き場(府有地)および外周辺民有地の活用についての請願書
- 東諸福公園早期使用嘆願書



### 日曜議会でコンサート 消防市民音楽隊「ウイングス」の演奏

多くの市民の皆さんに市政や市議会を知ってもらうために各会派の代表者による代表質問を3月13日の日曜日に行いました。日曜議会は平成13年から開催し今回で5度目となりますが、62人の傍聴者がありました。

また、午後1時から15分間、消防市民音楽隊によるコンサートを行いました。映画「千と千尋の神隠し」のテーマ曲やクラシック音楽など4曲を披露。議場は大きな拍手につつまれました。



次の定例会の開催予定日です

6月

- 10日(金)／本会議(議案上程・委員会付託)
- 13日(月)／いきいき委員会
- 14日(火)／いきいき委員会
- 15日(水)／まちづくり委員会

- 16日(木)／まちづくり委員会
- 27日(月)／本会議〔一般質問〕
- 28日(火)／本会議〔一般質問〕
- 29日(水)／本会議〔委員長報告・表決〕

※27日(月)、28日(火)、29日(水)の本会議は一般質問の質問者の数などにより日程の変更もあります。車椅子席(2席)も設置していますので、どうぞお気軽に傍聴にお越しください。